

令和7年度第3回三鷹市地域公共交通活性化協議会議事要旨

1. 日時

令和8年3月24日（火）午後3時00分～午後4時00分

2. 場所

教育センター3階 大研修室

3. 出席者

【委員】出席18名、欠席9名 【事務局】3名 【傍聴者】0名

4. 主な内容

(1) 委嘱状交付（机上配布）

(2) 会長挨拶

(3) 久野副市長挨拶

(4) 議事 協議事項

ア AI デマンド交通運営部会について

(5) 議事 報告事項

ア 北野地域の公共交通について

イ その他

■議事

協議事項

ア AI デマンド交通運営部会について(資料1-1及び1-2)

・事務局より、資料1-1及び1-2に基づき、AI デマンド交通運営部会の取組内容と来年度の方向性を説明した。

概要

- ・資料1-1「1取組内容」のとおり、各エリアの既存会議体を活用し、AI デマンド交通の運行状況を報告の上、利用促進策等について意見交換を実施した。
- ・実施結果や取組方針を踏まえ、来年度は子育て関係部門と連携しながら、子育て世代に向けた周知広報に取り組んでいきたいと考えている。
- ・運営部会で確認された中長期的に対応が必要な課題については、来年度議論を深めていく。

【委員発言】

- ・作業部会及び運営部会の開催日と参加者の属性を教えてください。

【事務局回答】

- ・ A I デマンド交通作業部会は10月3日、17日、22日、11月12日の計4回実施した。参加者は各地区の住民協議会の役員の方々。A I デマンド交通運営部会は1月30日に実施し、第1回三鷹市地域公共交通活性化協議会でお示しした委員により実施した。

【委員発言】

- ・ デマンド交通は高齢者の乗り物だと思っている人もいると思うので、子育て世代への周知は良いと思う。
- ・ 若い人をターゲットにするなら「誰でも」ではなく「若い人も」という記載が良いのではないかと。
- ・ 運行時間を明記した方がいいのではないかと。
- ・ 裏面の二次元コードに誤りがある。

【事務局回答】

- ・ 子育て世代をターゲットにしているが、市民に限らず誰でも乗車できる点を含め「誰でも」という大きな表現にしている。
- ・ 運行時間はエリアによって異なることから、あえて記載していない。
- ・ 二次元コードについては差し替える。

【委員発言】

- ・ 13時台と14時台は子どもが昼寝の時間なので、この時間の利用を促すターゲットとしては、ずれているのではないかと。子育て世代は夕方の需要が多いと思うので、周知すると夕方の時間が今よりも予約が取りづらくなってしまわないかと。
- ・ 資料1-2によるとスーパーから片道利用できるようなので、スーパーと連携して利用客に広報した方が13時台と14時台の利用促進につながるのではないかと。

【事務局回答】

- ・ 国が実施しているパーソントリップ調査によると、子育て世代でも午後の時間帯に移動が見られるが、資料1-1のグラフのとおり、デマンド交通はその時間帯の利用が少ないため、周知が足りていないと考えている。委員が懸念するように、周知することで他の時間帯の予約が取りづらくなる可能性があるため、この点に関してはA I デマンド交通全体の総括の中で対応を検討していきたい。
- ・ スーパーでの周知は西部エリアで実施しているところもあり、引き続き連携し

て周知広報に取り組んでいく。

【委員発言】

- ・予約がとりやすい時間帯を周知するだけでも効果があるのではないか。

【事務局回答】

- ・今後検討していく。

【委員発言】

- ・市のホームページに予約アプリの操作方法をYouTubeで紹介しているリンクがあったが、このリンクをチラシに載せてはどうか。
- ・西部エリアと井の頭エリアでホームページが分かれているなら、それぞれのページで特徴的な主な乗降ポイントを紹介すると利用のイメージが出来るのではないか。

【事務局回答】

- ・YouTubeも利用をイメージしてもらおうひとつの手段だが、二次元コードが多いチラシになってしまうため今回は掲載を見送った。
- ・ホームページでの掲載情報については今後検討していく。

【会長発言】

- ・資料1-1を見ると、運営部会の実施結果でシステムに関する改善要望が出ているが、どのような結論になったのか。

【事務局回答】

- ・当日は大小様々な疑問・要望があったため、その場で解決できるものは回答し、中長期的なものは来年度以降の検討事項とした。当日中に解決した問題もあったため、部会の開催を待たずに、運行事業者、システム事業者、事務局で問題を可視化できるシステムがあってもいいのではないかという話も挙がった。

【会長発言】

- ・可視化出来るシステムとのことだが、難しいシステムを挟むとやりたくなくなってしまうので、注意して取り組んでほしい。

【委員発言】

- ・資料1-1のグラフでは時間帯によって利用者のばらつきがあるが、利用目的や午後の時間帯の利用が比較的少ない理由があれば教えてほしい。
- ・予約が取りづらい時間帯についてはどのような対応を検討しているのか。

【事務局回答】

- ・ドライバーの休憩時間は利用が落ち込んでいる。また、利用者アンケートによると利用目的は通院、買い物が多かった。
- ・予約が取りづらい時間帯への対応については、デマンド交通の総括と併せて来年度以降検討していく。

報告事項

ア 北野地域の公共交通について(資料2)

- ・事務局より、資料2に基づき、以下のとおり概要を説明した。

概要

- ・運行計画(案)のとおり、A I デマンド交通の実証運行を令和8年10月1日から開始予定。
- ・実証運行中、みたかシティバス北野ルートは運行休止する。
- ・運行車両や運賃、予約方法、支払い方法はすでに本格運行している他エリアと同様の仕様を考えている。
- ・運行エリアについては地域内交通としての役割を基本とするため、北野地域をエリアとし、地域ニーズや北野ルートの運行経路等を考慮し、例外的にエリア外に乗降ポイントを設定する。
- ・エリア図は現時点のもので、6月下旬の運行計画確定までに概ね100メートルに1箇所程度設定できるよう調整中。

【委員発言】

- ・北野地域は仙川駅に出る人も多いので、調布市のコミュニティバス緑ヶ丘循環の北野四丁目バス停付近を乗降ポイントに設定するとよい。

【事務局回答】

- ・交通ネットワークの観点からもA I デマンド交通だけで全ての需要を賄うことは考えていない。北野四丁目バス停をはじめ、地域のバス停付近にも乗降ポイントを設定し、便利に利用できるよう工夫したい。

【委員発言】

- ・A I デマンド交通は、乗降場所がわかりづらい等の理由により視覚障がい者が利用しづらい側面がある。実証運行を行う中で幅広い利用者への対応を検討い

ただきたい。

- ・運休するバス停に関して、横断防止柵の設置や付近の点字ブロックの処理を適切に行い、視覚障がい者が安全に利用できる環境への配慮をお願いしたい。

【事務局回答】

- ・視覚障がい者への配慮について、A I デマンド交通という乗り物の特性で対応が難しい部分もあるが、アプリだけでなく、電話予約も出来るといった利用しやすい仕組みについて継続して検討していく。
- ・休止バス停の対応については、バス停周囲の状況等を見ながら対応を検討する。

【会長発言】

- ・資料1-2のチラシは北野エリアでは配布しないのか。

【事務局回答】

- ・北野エリアは実証運行の開始に合わせて資料1-2とは別にチラシを作成予定。

【委員発言】

- ・北野地域は世田谷区や調布市と入り組んでいるが、車が移動する際は市域の道だけを通るのか。

【事務局回答】

- ・西部エリアも調布市域を走行しているため同様の仕様を考えている。

【委員発言】

- ・行政区界にこだわると非効率になるため、柔軟に運行出来るよう調整した方がよい。

【会長発言】

- ・コミュニティバスが休止になって不利益を被る人はいるのか。

【事務局回答】

- ・例えば、北野地域から三鷹駅までの利用者は乗り換えが必要になるが、利用実態調査によると人数はそこまで多くない。また、調査結果を受けて、例外的にエリア外ポイントを設定することとしたので、路線バスに乗り換えることで目的地近くまで行けると考えている。

イ その他

【事務局発言】

- ・次回の活性化協議会は、令和8年6月頃の開催を予定している。